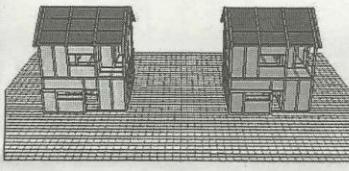


「耐震性能見える化協会」が始動

耐震シミュレーションによる再現



振動台実験



シミュレーション

※同協会の資料より転載

ルト屋根材も認証対象
オタウスパソコンで
振動台実験

耐震性PRで活用

同協会設立の目的は、インターネットで無償公開されている耐震シミュレーションソフト(ウォールスタッフ)を用いて、「オールスタッフ対応済み建材」の認証などをていく。「一般社団法人耐震性能見える化協会」(中川貴文代表理事・京都大学生存圏研究所准教授、今年1月17日に設立)は4月17日、東京の大手町サンスカイルームで会員募集に関する説明会を実施した。会場には屋根材を含む建材メーカーや団体ら約50社と「アソシエーション」が詰めかけた。

「オールスタッフ対応済み建材」の認証などをいく。「一般社団法人耐震性能見える化協会」(中川貴文代表理事・京都大学生存圏研究所准教授、今年1月17日に設立)は4月17日、東京の大手町サンスカイルームで会員募集に関する説明会を実施した。会場には屋根材を含む建材メーカーや団体ら約50社と「アソシエーション」が詰めかけた。

は、ウォールスタッフを活用しているユーザー(登録無料)、同士の情報交換や建材データベースの提供などを行う。

②では、有償で行われる「ウォールスタッフマスター講習会」や「ミニ講習会」で、使い方を教えていく。1日かけて行われるマスター講習会は5月から来年2月まで全国7地区で開催予定。

③では「ウォールスタッフ対応済み建材」の認証などを行っていく。中川代表理事は「仕上げ材としての屋根材も認証の対象となる」としている。

例えれば瓦メーカー

瓦業界 工務店ら元請けへ ソフトの有効活用提案

全国陶器瓦工業組合連合会と全日本瓦工事業連盟が2017年8月に発行した「瓦屋根の耐震性を知る、瓦屋根は地震に弱いといふ風評は本当か?」のパンフレットは、ウォールスタッフを使っての耐震性能の目安を知ることができる。中川代

震による木造住宅の減災を目指す。

ウォールスタッフは、パソコン上で木造住宅をモデル化し、振動台実験をシミュレーションするもの(写真)。

費用と時間がかかる実物大の振動実験を行うことなく、新築住宅の耐震性能の目安を知ることができる。中川代

表理事が開発した。

シミュレーションのようすは三次元でアニメーション化。最大の特長は、実際に起きた地震の地震波を入力すれば、建物が完全に倒壊するまでの数値の解析を追跡できる。

同協会の主な事業活動は、①情報交換ウェブサイト(準備中)の運営②講習会などのイベント実施③適切な普及に向けた認証。

①のウェブサイトで

瓦業界からは、同

も十分な耐震性を確保できることなどが示さ

れている。

瓦屋根の住

士に対してもアドバイス

瓦屋根への風評被害を打ち消して正直な評価を得られるようにした

い」との声が聞かれる。

古い建物で屋根を軽くしても効果が限的であること、逆に耐震性があること、逆に瓦屋根で補強をすれば瓦屋根で

瓦屋根への風評被害を

打ち消して正直な評価

を得られるようにした

い」との声が聞かれる。

日本屋根経済新聞

発行所 日本屋根経済新聞社
本社 TEL (03) 3394-3211
〒167-0033 FAX (03) 3394-2119
東京都杉並区清水2-22-13
<http://www.yanet.co.jp/>
編集部 TEL (03) 3263-2993
〒102-0071 FAX (03) 3263-3090
東京都千代田区飯田橋1-10-5
電子メール: newsoffice@yanet.co.jp
購読料: 年間22,000円+税
(送料サービス)

宅を兵庫県南部地震で観測した地震波で耐震シミュレーションした結果、「瓦屋根の住宅は倒れなかつ」という結果を得たとする。そのデータを協会に申請して認証されれば、このシミュレーションで

お、協会に入会しなくてもウォールスタッフ会員、「サポート会員+コラボ会員」「マスター会員」がある。なにかが、「コラボ会員の場合は、「ウォールスタッフ」は自由に使える。問い合わせは左記。

一般社団法人 耐震性能見える化協会 東京事務所 ☎ 03-5424-21メ1
info@wallstat.jp



発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区木場234
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
<https://jfp.jp/>
メール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヶ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2019
本紙の無断複数複数(コピー・PDF)配布
は、著作権の侵害にあたり違法です。

木と共に
たな
新時代へ
木材建材ウイワリー^{Japan Lumber Reports}
電子版

オールスタッフの認証制度も 講習会受講者の認証制度も

耐震性能見える化協会

耐震性能見える化協会（奈良県吉野郡、中川貴文代表理事）が一般社団法人として設立され、活動を始める。中川貴文（京都大学准教授）が開発した木造住宅の倒壊シミュレーションソフト「オールスタッフ」を使い、住宅の耐震性能を「見える化」し、耐震性能の新しい尺度としての普及を目指していく。

オールスタッフは、籍時に開発した。木造住宅を構成する構造中川氏が建築研究所在中川氏が建築研究所在住宅を構成する構造简单な操作で行うこととしていく。

が可能だ。
アニメーションによ
る倒壊過程シミュレー
ションは、施主などが見
ても分かりやすく、構
造的な弱点を補強する



中川 代表理事

Dベンダーなどでは、「会」が一般社団法人として設立された。会員種別はサポートDベンダーなどでは、「会」が一般社団法人として設立された。会員種別はサポート

自社のCADソフトと
自社のCADソフトと
ウオールスタッフをC
EDXMの中間ファイ
ルを介して連携できる
よう開発が行われてい
る。多方面から応用ア
プリの開発や技術支
援、指導の要請が寄せ
られている。

開発者の中川氏の個
人的な対応の限界を超
えつつあることから、
ウォールスタッフの研
究開発・普及促進のた
めのナレッジコミュニ
ティ（知識共同体）
として1月17日、同協

（無料）を設ける。

本部は中川氏の出身地である奈良県川上村に置き、栗山忠昭村長も呼び掛け人として参加した。呼び掛け人に藤澤好一・シーテクセマ評議会理事長も参加、連携団体としても活動する。

ウォールスタッフでは吉野材などの強度を生かした計算が可能なため、地域材の認証制度との連携なども模索し、吉野かわかみ社中と連携もしていく。事務局はオプコート研究所に置く。

中川代表理事の話

ウォールスタッフは耐

震性能を見る化し、

力の流れを自分でみて説

明できるツールで、適

切に普及していくた

い。講習会受講者を対

象とした資格制度を作

り、しっかり伝える。

ようにしていただきたい。

工務店士の共通概念

として新しい尺度にな

るようにしていきたい。

材、接合部材、制震材、余力となる仕上げ材など構造要素の一つひとつ性能を数値化。実際に観測された地震動をうに拳動し、建物全体が倒壊に至っていくかを計算する。時刻歴応答解析の高度な検証を

簡単な操作で行うこととしていく。

中川氏が建築研究所在住宅を構成する構造簡単な操作で行うこととしていく。

中川氏が建築研究所在住宅を構成する構造簡単な操作で行うこととしていく。